

クラス	QA301	担当教員	小川しおり
テーマ	児童期・青年期の発達と心の理解		
著書・論文 研究課題等	<p>著書：「臨床児童青年精神医学ハンドブック」（共著）西村書店、2016年、 「幼稚園・保育園児 集団生活で気になる子どもを支える」（共著）明石書店、2016年、他 論文：「児童期の不安（子どもの不安、親の不安）を扱う」精神療法 第45巻5号、2019年 「自閉症を持つ子どもと大人のよりよい未来のために—ASDを高率に呈するゲノムバリエーションに起因する疾患を中心に」医学のあゆみ vol.268 no.3、2019年、他</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：児童精神医学、学校精神保健、発達障害、育児支援、不登校、職場のストレス			
<p><目的・内容> 臨床現場での適切な心理・社会的な対応の工夫について学ぶことを目的とします。今日の社会におけるメンタルヘルスの課題や展望について議論し、文献や事例を通して考察を深めます。</p> <p><学習目標> *様々な精神疾患の心理学的特徴を把握し、その知識を心理療法的アプローチに応用することができる。 *体験学習や学外活動等での観察と関わりから得られる気づき・洞察を言葉で表現する。</p> <p><授業計画> 3年次はグループでの作業・活動が主となります。体験学習やディスカッションを通して、自分の興味のあるテーマを見つけ深めていきます。卒業研究のテーマに関連して文献検索を行い、調べた内容を発表し共有しながら、研究の進め方を学び、研究計画を練ります。4年次にはそれぞれのテーマに沿って問題、目的および方法について検討したうえで実際の調査・研究に着手し、結果と考察をまとめていきます。</p> <p>担当教員は大学病院、精神科病院、療育センター等にて精神科医師として勤務し多職種からなるチーム医療の経験を積むとともに、地域の福祉・教育機関との連携を通して育児・発達支援に力を入れてきました。将来的に広い視野で考え専門性を持って活躍できるような教育活動を目指します。具体的な事例や最新の知見を取り入れることで、臨床現場での出会いを学生の皆さんに生き生きと実感してもらい、アセスメントと心理支援について一緒に考え議論していきたいと思っております。皆さんの身近な経験から興味を持ったトピックを掘り下げていけるよう話題提供ができればと考えています。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>単位取得については特に3年時は出席を重視します。いろいろな個性の人が安心して暮らせるようになること、世の中を良くすることに少しでも貢献できるような研究につながるように根気強く取り組んでいけたらと思います。</p> <p>ゼミでは、学び方を学び、発見や探求の楽しさ・感動を体験できると素晴らしいと思っております。「よく学んだ人間ではなく、学びつづける人間を育てること」が重要という思いでサポートしていきます。</p>			